

ガイドライン策定、最終段階に

再生石膏粉の有効利用 ガイドライン策定委員会 年度内に初版発行

委員らから意見が飛び交った



廃石膏ボードのリサイクル率向上を目的とした再生石膏粉の有効利用ガイドライン策定委員会の第2回が2月27日、都内で開かれた。環境省の環境研究総合推進費として採択された「廃石膏ボードリサイクルの品質管理の

修正事項などについて話し合った。当日は、ガイドラインの根幹となる第3章の「再生石膏粉の品質管理」について、「廃石膏の受け渡し段階で」リサイクル品の原料としての廃石膏の品質を誰が分析し、誰が

在り方と社会実装」の研究テーマの一つであるガイドラインの年度内発行に向け、再生石膏粉の有効利用ガイドライン作業部会が作成を進めてきたガイドライン(案)を読み合わせながら、委員らから品質を保証するのかなど、責任分担を明確にすべき「や」時間や温度管理などの製造過程の詳細が設定されていない。数値として示し、マニュアル化されていなければ使えない」など、委員らから厳しい指摘もあった。

これらの指摘を踏まえ作業部会が内容を修正し、3月中には初版を発行する。発行元は全国石膏ボードリサイクル協議会。研究期間は2年のため、来年度は協議会の企業メンバーでガイドラインの初版を運用し、その結果を反映する形で委員会や作業部会が随時改訂する。来年度以降の詳細な運用方法は協議会の第5回会合で検討する。